

# 令和7年度 和歌山市立西脇小学校 学校運営計画書（スクールプラン）

校長名 川崎 ゆき 作成日 令和7年4月23日

## 和歌山市学校教育目標

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

## 保護者・地域の願い

- 子供に学力を定着させてほしい。
- 明るく楽しい学校にしてほしい。
- 相手の気持ちがわかる子供に育ててほしい。
- 地域に誇りをもちたてほしい。
- 自主的にあいさつしてほしい。
- 学校施設をより快適に改善してほしい。

## 【学校教育目標】

心身ともに健康で、自主的に物事を考え、自他の人格を尊重し、互いに協力して実践していく子供を育てる

## 【めざす児童（生徒）像】

- ・いのちを大切にする子供
- ・自ら考え、自ら学び、実践する子供
- ・なかよく助け合う子供
- ・地域や学校に誇りをもつ子供

## 前年度の学校評価

- 授業が工夫され、一人一人の学びを支援して子供たちに学力を定着させようと努力している。
- アンケート結果より、学校に楽しく通っている児童の割合が高く、学校生活が充実できていることがわかる。
- 子育て家庭の状況が変化している現在、学校と地域の協力・支援体制の構築が大事である。

## 児童（生徒）の実態

- 元気のよい挨拶が広がり、児童会が中心となって、子供たちは自主的に学校生活を送ろうとしている。
- 時間を守って行動できる。
- 最後まで粘り強く取り組む力が、やや弱い。
- 家庭学習の定着が弱く、ゲームやスマホ等に費やす時間が多い傾向にある。

## 重点目標

### 確かな学力の向上

- ◎読み・書き・計算等の基礎学力の定着
- ◎自分の考えを書く・話す・話し合う力の育成
- ◎家庭と連携し、家庭学習の充実を図る。

### 豊かな心の育成

- ◎自他共に尊重し合える心の育成
- ◎いじめの未然防止、早期発見、早期解決
- ◎地域の方々との関わりや異学年交流を生かした感謝・思いやりの心の醸成

### 健やかな体の育成

- ◎健康の保持増進と体力向上の推進
- ◎基本的な生活習慣の確立
- ◎危機回避能力の育成

### 地域とともにある学校

- ◎学校・家庭・地域との連携・協力の維持
- ◎地域人材を活用した地域に開かれた学校づくり
- ◎学校運営協議会の推進と活用

## 具体的な取組

- 粘り強く考える学習習慣の定着を図る。
- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底した授業を行う。
- 考えを書く・話す・話し合う活動を授業に積極的に取り入れる。
- 朝の会での話し合い活動を楽しく充実させる。
- 帯の西脇タイムを利用して、基礎学力の向上を図る。
- 家庭と連携しながら家庭学習の充実・習慣化を図る。

- 道徳・人権教育の充実を図る。
- 地域との交流、磯の浦クリーン作戦等の体験活動を通して、感謝の心、思いやりの心、ボランティア精神等の育成に努める。
- いじめアンケートや心の健康観察を実施し、いじめの早期発見、早期解決に努める。
- 全児童に「読書貯金手帳」を配付し、読書活動を推進する。

- 地域学習や奉仕作業を通して、健全な心や体力の向上を図る。
- 全学年を通して「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する。
- 避難訓練や交通安全教室、喫煙防止・薬物乱用防止教室、情報モラル教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する。

- 各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を公開する。
- 地域活動へ参加して交流を推進し、多様な生き方を学ぶ。
- 幼保こども園からの接続、中学校区での小中の連携を推進・充実する。
- 授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティア、クラブ講師等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する。

## 指標

- ・全国学力・学習状況調査及び県学習到達度調査で、正答数が県平均に近づく。
- ・学習が楽しく分かり、子どもが主体的に授業を行うことができたと感じる(80%)
- ・教師一人一研究授業の実施(100%)

- ・学校が楽しいと感じる。(児童90%)
- ・命の大切さを教えてもらっている。(100%)
- ・いじめの解消率100%

- ・朝ごはんを食べた(児童100%)
- ・体力テストの結果が全国平均と同等となる。

- ・学校の様子がよく伝わる。(保護者90%)
- ・幼稚園、中学校区で接続・連携した取組を実践できた。(教師90%)

◎：特に重点的に取り組むこと